

フィンランド新聞

西中一B
中村 翔

国民に愛される国

税金で国民を幸せに...

二〇二四年版の世界幸福度ランキングでフィンランドが六年連続一位に立った。なぜ六年連続一位なのか？その理由は大きく二つあり、一つ目は、フィンランド人が、綺麗な空気を水・森の恵みを感じ、安心して暮らしていること。二つ目は、将来国民が不安にならない社会制度。なぜならフィンランドでは、小学校から大学まですべての教育費、医療費も無料。ほかにも、介護費無料または逆給付で提供される。あと失業や病気で収入が減った場合でも社会保障によって生活を支える事ができる。

このように手厚い社会保障を支えるために国民への負担は少ない。

日本とフィンランドの関係

日本とフィンランドは、その理由は、日露戦争でえられます。日本がフィンランドを国家承認し、ウエーデンのあいだで、領土が約一〇〇万ドルで、一つあり、フィンランドと日本は、口外交関係を樹立して、起ったオーランド。あるのに対し、フィンランドと日本は、ロシアの領土権争いを新ランドから日本への輸送、シアという輸送がある。文化など様々なレベル、いうエピソードがあり、ドルである。フィンランドとフィンランドと日本は、文化交流、協力を進めます。この一件による、ランドの主要輸出品は、機械・輸送用機類四二、いと、思いました。

は、親日国なのです。親日に愛された老パーセントだった。

リヤセン。消費税率は二四パーセント(外食食品一四パーセント)(本、医薬品、交通機関一〇パーセント)住民税一九パーセント。車購入一〇〇パーセント。これだけ手厚い社会保障を支えるには多くの税金が必要だと思われました。

学生の私からすると大学まで教育費無料、医療費無料はとて魅力的だと思えます。

大人になるまでの経済的不安がなくなるので夢を諦めなくて済むのが良いと思います。

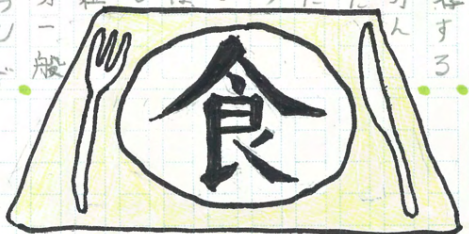
日本も少子化が進んでいるから日本も参考に試してみたいです。

ムーミン

一九四四年にトーベヤンソンさんによってスウェーデン語の雑誌「ガムル」で挿絵として登場したのがムーミンのはじまりです。そんなムーミン、実は日本と深い関係があるんです。初めてアニメ化されたのは日本。



そのアニメがフィンランドで放送されて人気になりました。また、フィンランド以外の国にある唯一のムーミンパークが埼玉県飯能市にあります。いつか行ってみたいですね。



フィンランド料理の特徴は、素材な味を活かし、シンプルで調理方法が多いです。フィンランドでは、長い冬に備えて食べやすい保存食のため、肉や魚をかんそうさせたりしたり、塩づけにしたり、人製にしたりする技術が発達しています。主食はジャガイモ、もしくはライ麦や全粒粉でできたパンが一般的です。フィンランドでは一般的には一日五回食を摂ります。料理といては、五分が食なんです。料理といては、五分が食なんです。料理といては、五分が食なんです。

料理を食べたいです。

ヘルシンキ 大聖堂

ヘルシンキ大聖堂とは、いつもヘルシンキの街を見守っている白亜の教会。フィンランドがロシアから独立をばたかす一七〇七年までは、ニコラス教会と呼ばれていました。一八五二年にドイツ人のカールルドゥイヒ・エンゲルさんによって改築されました。



編集後記

この新聞を通して私が思ったことは、フィンランドは、たくさん自然、手厚い社会保障などフィンランドならではの幸福度が高いのがおもしろい所が多いので、いつか行ってみたいですね。